



学校教育目標

自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童の育成



自分から、自分たちで動く 修学旅行

2日間の日程で修学旅行に行ってきました。南小の修学旅行には、通常だと同行する旅行会社の添乗員はいません。移動は貸切バスではなく公共交通機関です。切符購入や施設での受付も自分たちでやらねばなりません。私たちはこれを子どもたちの主体性や責任感を育てる絶好の機会だととらえ、できるだけ、子どもたちに任せることにしました。

「切符売り場はどこだろう」「バス乗り場はこっちかな」当事者意識をもたせれば、けっこう自分たちで探せるものです。当然時間がかかることもありましたが、大きなトラブルなく全行程を終えることに成功しました。とても頼りになる5、6年生でした。

1日目、遊覧船から降りるとき、6年生の2人が座席に戻って忘れ物がないかを最確認していました。教師がやるようなことを自分から気づいてやっており、感心させられました。

2日目のハウステンボスでは、待ち時間なども考慮し順番を変えたり、2グループに分かれたり、自分たちで折り合いをつけ、臨機応変に動く姿もありました。

このように、自分からの姿がたくさん見られた修学旅行。成長を実感しました。



自分で切符購入 バスに乗車しパールシーへ 松浦鉄道の方に向かっていましたが、途中気づいてJR改札口へ



パールシーの入場受付
ホテルのチェックイン
チェックアウトも自分
たちで



心配そうに見守る駅員さん

自分たちで考え、自分たちで決める 修学旅行



地図を見て位置を確認



次はどうする?みんなで相談



夕食のメニュー選び



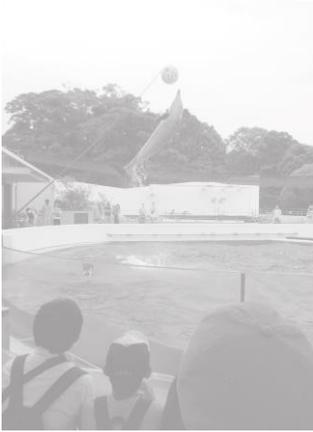
朝食バイキングでも

思い出いっぱい 修学旅行

九十九島遊覧船



九十九島水族館 海きらら



ハウステンボス

